



2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社
コード番号 3286 URL <https://www.trust-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 修
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 原 宗平
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 2024年2月29日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

TEL 092-437-8944

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	7,064	24.4	372	145.9	340	201.3	187	86.3
2023年6月期第2四半期	5,681	11.3	151	34.4	112	45.7	100	18.1

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 188百万円 (89.2%) 2023年6月期第2四半期 99百万円 (19.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	49.98	
2023年6月期第2四半期	27.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第2四半期	8,077	795	9.9	209.57
2023年6月期	9,431	622	6.6	166.31

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 795百万円 2023年6月期 622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		5.00		10.00	15.00
2024年6月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	2.8	620	8.9	520	1.9	300	25.0	80.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	5,204,500 株	2023年6月期	5,204,500 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	1,406,728 株	2023年6月期	1,461,288 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	3,757,828 株	2023年6月期2Q	3,697,840 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により社会経済活動は回復基調にありましたが、ウクライナ情勢の長期化による原材料及びエネルギー価格の高騰や急激な為替変動等の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、駐車場事業の収益力向上、不動産事業における新築マンションの販売強化及び駐車場等小口化事業における「トラストパートナーズ」の販売拡大の他、各種事業の収益改善等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高7,064,641千円（前年同期比24.4%増）、営業利益372,924千円（同145.9%増）、経常利益340,353千円（同201.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は187,852千円（同86.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①駐車場事業

駐車場事業につきましては、社会経済活動の回復に伴い、駐車場利用者数が徐々に回復する中、安心・安全な車室の提供に努めてまいりました。

以上の結果、売上高3,459,140千円（前年同期比2.1%増）、営業利益223,695千円（同41.7%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の駐車場数は891ヶ所（前年同期より9ヶ所増、前連結会計年度末より6ヶ所増）、車室数は31,024車室（前年同期より658車室減、前連結会計年度末より417車室減）となっております。

②不動産事業

不動産事業につきましては、当第2四半期連結累計期間において、新築マンション2棟「トラスト鳥栖本町ネクサージュ（佐賀県鳥栖市、54戸）」及び「トラストレジデンス南里（福岡県糟屋郡志免町、28戸）」が竣工いたしました。また、既竣工物件である「トラストレジデンス八女（福岡県八女市）」及び「トラスト春日の杜レジデンス（福岡県春日市）」の販売も継続し、合わせて89戸の引渡しを実施いたしました。

以上の結果、売上高2,583,183千円（前年同期比125.4%増）、営業利益185,056千円（前年同期は21,522千円の営業損失）となりました。

なお、当連結会計年度におきましては、更に、新築マンション1棟「トラスト福岡空港駅レジデンス（福岡県糟屋郡志免町、68戸、2024年6月引渡予定）」の竣工を予定しております。

③駐車場等小口化事業

不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ」の販売を中心として行う駐車場等小口化事業につきましては、当第2四半期連結累計期間において、「トラストパートナーズ第31号（大阪市西区、販売総額184,000千円）」を組成、完売いたしました。

以上の結果、売上高218,258千円（前年同期比15.1%減）、営業利益7,381千円（同105.2%増）となりました。

なお、第3四半期連結会計期間におきましては、「トラストパートナーズ第32号（大分県大分市及び広島県尾道市、販売総額170,000千円）」の組成を予定しております。

④メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」、「福岡信和病院」及び「石田病院」等の賃貸収入等により収益は概ね堅調に推移した一方、貸倒引当金を計上したことにより、営業損失となりました。

以上の結果、売上高129,294千円（前年同期比0.5%増）、営業損失39,836千円（前年同期は9,097千円の営業利益）となりました。

⑤RV事業

RV事業につきましては、キャンピングカーの製造、販売及び修理・リノベーション等に注力いたしました。

以上の結果、売上高184,364千円（前年同期比27.5%減）、営業利益16,762千円（同131.6%増）となりました。

⑥ウォーター事業

ウォーター事業につきましては、高濃度水素水の製造・販売等に注力いたしましたが、発生剤不具合による商品の自主回収を行い、棚卸資産評価損を計上いたしました。

以上の結果、売上高16,210千円（前年同期比72.5%減）、営業損失40,403千円（前年同期は9,771千円の営業利

益)となりました。

⑦その他

その他につきましては、温浴施設「那珂川清滝（福岡県那珂川市）」、「和楽の湯下関せいりゅう（山口県下関市）」の来館者数回復及び警備契約獲得等に努めてまいりました。

以上の結果、売上高474,220千円（前年同期比6.0%増）、営業利益9,420千円（同744.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,245,994千円減少し、5,123,599千円となりました。主な減少要因は、現金及び預金の減少708,739千円、不動産事業における仕掛販売用不動産の減少576,278千円であります。固定資産は前連結会計年度末と比較して108,261千円減少し、2,954,124千円となりました。主な減少要因は、土地の減少44,978千円であります。

以上の結果、総資産は8,077,723千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,354,256千円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,234,451千円減少し、4,315,597千円となりました。主な減少要因は、短期借入金の減少996,000千円、不動産事業における新築マンションの竣工等に伴う買掛金の減少346,220千円であります。一方、主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加305,433千円であります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して293,174千円減少し、2,966,210千円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少318,180千円であります。

以上の結果、負債合計は7,281,807千円となり、前連結会計年度末に比べ1,527,626千円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して173,369千円増加し、795,915千円となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加187,852千円であります。主な減少要因は、剰余金の配当40,488千円であります。

以上の結果、自己資本比率は9.9%（前連結会計年度末は6.6%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して709,939千円減少し、2,096,635千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、467,371千円のプラス（前年同期は517,325千円のマイナス）となりました。これは主に、棚卸資産の減少による増加額496,323千円、税金等調整前四半期純利益による増加額321,316千円、仕入債務の減少による減少額346,220千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、64,744千円のマイナス（前年同期は93,676千円のマイナス）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出115,174千円、有形固定資産の売却による収入44,978千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,112,567千円のマイナス（前年同期は450,697千円のプラス）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額996,000千円、長期借入金の返済による支出263,747千円、長期借入れによる収入251,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表いたしました「2023年6月期 決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,876,592	2,167,852
受取手形及び売掛金	205,998	236,246
販売用不動産	272,143	312,814
仕掛販売用不動産	2,009,607	1,433,329
商品及び製品	40,522	40,316
仕掛品	52,892	65,820
原材料及び貯蔵品	86,013	114,280
その他	1,159,595	1,124,410
貸倒引当金	△333,772	△371,471
流動資産合計	6,369,594	5,123,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	910,636	913,646
土地	770,242	725,264
その他（純額）	470,940	487,494
有形固定資産合計	2,151,819	2,126,404
無形固定資産		
のれん	13,171	—
その他	95,676	76,301
無形固定資産合計	108,848	76,301
投資その他の資産	801,718	751,419
固定資産合計	3,062,386	2,954,124
資産合計	9,431,980	8,077,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	649,765	303,544
短期借入金	2,737,000	1,741,000
1年内返済予定の長期借入金	1,037,178	1,342,611
リース債務	107,385	110,852
未払法人税等	148,638	112,323
資産除去債務	3,009	3,980
契約負債	150,065	197,257
その他	717,006	504,027
流動負債合計	5,550,049	4,315,597
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	2,110,326	1,792,146
リース債務	178,895	201,221
退職給付に係る負債	98,488	105,038
株式給付引当金	23,273	25,393
資産除去債務	154,301	158,026
その他	294,099	284,385
固定負債合計	3,259,384	2,966,210
負債合計	8,809,434	7,281,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,996	422,996
資本剰余金	206,212	210,000
利益剰余金	551,639	699,003
自己株式	△555,930	△534,399
株主資本合計	624,918	797,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,371	△1,685
その他の包括利益累計額合計	△2,371	△1,685
純資産合計	622,546	795,915
負債純資産合計	9,431,980	8,077,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,681,002	7,064,641
売上原価	4,542,181	5,637,163
売上総利益	1,138,821	1,427,477
販売費及び一般管理費	987,193	1,054,553
営業利益	151,627	372,924
営業外収益		
受取利息	718	877
受取配当金	16	96
補助金収入	—	5,612
助成金収入	4,655	5,884
その他	14,244	6,872
営業外収益合計	19,634	19,343
営業外費用		
支払利息	48,096	44,235
その他	10,186	7,678
営業外費用合計	58,282	51,913
経常利益	112,979	340,353
特別利益		
固定資産売却益	20,679	—
特別利益合計	20,679	—
特別損失		
減損損失	1,105	19,037
特別損失合計	1,105	19,037
税金等調整前四半期純利益	132,553	321,316
法人税、住民税及び事業税	17,179	85,898
法人税等調整額	14,560	47,565
法人税等合計	31,740	133,464
四半期純利益	100,813	187,852
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,813	187,852

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	100,813	187,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,145	685
その他の包括利益合計	△1,145	685
四半期包括利益	99,668	188,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,668	188,538

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	132,553	321,316
減価償却費	171,700	159,025
減損損失	1,105	19,037
のれん償却額	8,400	1,099
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,335	37,699
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	3,136	2,214
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,083	6,549
受取利息及び受取配当金	△734	△877
社債利息	1,890	2,490
支払利息	46,205	41,744
有形固定資産売却損益 (△は益)	△20,679	—
固定資産除却損	1,922	475
売上債権の増減額 (△は増加)	18,251	△30,248
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△862,282	496,323
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,821	△346,220
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△29,377	△41,810
有形固定資産から棚卸資産への振替	18,469	20,687
その他	58,714	△710
小計	△427,155	688,796
利息及び配当金の受取額	718	877
利息の支払額	△45,524	△41,770
法人税等の支払額	△45,362	△180,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	△517,325	467,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△75,782	△115,174
有形固定資産の売却による収入	30,000	44,978
投資有価証券の取得による支出	△32,752	△3,670
貸付けによる支出	—	△500
貸付金の回収による収入	1,595	4,325
敷金の差入による支出	△3,551	△8,343
敷金の回収による収入	3,168	20,291
資産除去債務の履行による支出	△4,219	△4,334
その他	△10,935	△1,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,676	△64,744

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	502,800	△996,000
長期借入れによる収入	611,000	251,000
長期借入金の返済による支出	△573,912	△263,747
リース債務の返済による支出	△70,068	△63,616
配当金の支払額	△19,122	△40,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	450,697	△1,112,567
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△160,304	△709,939
現金及び現金同等物の期首残高	2,144,713	2,806,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,984,408	2,096,635

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(保有目的の変更)

当第2四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の「その他」に含まれる車両運搬具20,687千円を「商品及び製品」へ振替えております。なお、当該資産は一部売却し、15,676千円は売上原価に計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症が会計上の見積りに与える影響について、重要な変更はありません。

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2023年10月19日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分(以下「本自己株式処分」という。)を行うことについて、以下のとおり決議し、処分を行いました。

処分の概要

- (1) 処分期日 2023年11月15日
- (2) 処分する株式の種類及び数 普通株式 52,800株
- (3) 処分価額 1株につき469円
- (4) 処分総額 24,763,200円
- (5) 処分先及びその人数並びに処分株式の数

当社取締役(業務執行取締役)	3名	24,000株
当社子会社取締役	8名	28,800株
- (6) その他 本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	RV事業	ウォーター 事業	計
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,388,607	1,143,100	24,729	14,336	254,241	58,945	4,883,960
その他の収益 (注)4	—	3,094	232,334	114,261	—	—	349,690
外部顧客への売上高	3,388,607	1,146,194	257,064	128,598	254,241	58,945	5,233,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	268	11,766	13,817	—	183	11,990	38,026
計	3,388,875	1,157,960	270,881	128,598	254,425	70,936	5,271,677
セグメント利益又は損失(△)	157,824	△21,522	3,597	9,097	7,236	9,771	166,006

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	447,387	5,331,347	△36	5,331,311
その他の収益 (注)4	—	349,690	—	349,690
外部顧客への売上高	447,387	5,681,038	△36	5,681,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,171	89,197	△89,197	—
計	498,558	5,770,236	△89,233	5,681,002
セグメント利益又は損失(△)	1,115	167,121	△15,494	151,627

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去248,432千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△262,257千円及び棚卸資産等の調整額△1,669千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(会計制度委員会報告第15号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年7月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						計
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	ウォーター 事業	
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,459,140	2,579,476	26,899	15,414	184,364	16,210	6,281,505
その他の収益 (注) 4	—	3,707	191,358	113,879	—	—	308,945
外部顧客への売上高	3,459,140	2,583,183	218,258	129,294	184,364	16,210	6,590,450
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	302	12,198	16,165	291	32	12,687	41,677
計	3,459,443	2,595,381	234,423	129,585	184,396	28,898	6,632,128
セグメント利益又は 損失(△)	223,695	185,056	7,381	△39,836	16,762	△40,403	352,657

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	474,220	6,755,726	△30	6,755,696
その他の収益 (注) 4	—	308,945	—	308,945
外部顧客への売上高	474,220	7,064,671	△30	7,064,641
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	49,158	90,835	△90,835	—
計	523,379	7,155,507	△90,865	7,064,641
セグメント利益又は 損失(△)	9,420	362,078	10,845	372,924

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去260,797千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△249,470千円及び棚卸資産等の調整額△481千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(会計制度委員会報告第15号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ウォーター事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。